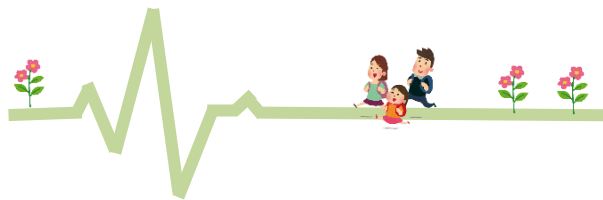


病院だより 8月号



心電図検査について

検査科 竹内 実奈

心電図検査ってどんなもの？

動悸・息切れがする、胸が苦しい、不整脈などの症状を感じることはありませんか？

上記のような症状で受診されたときには、医師の判断により心電図検査を行うことがあります。心電図検査は、ベッドに横になり手足や胸に電極をつけて心臓の動きを記録する検査です。人間ドックや健康診断の項目として受けたことがある方もいるのではないのでしょうか。

この検査では不整脈の有無や心臓の動き・大きさに異常がないかなど、心臓の状態を調べます。



しかし、受診時や検査中には症状が落ち着き、心電図検査では異常が見つからないこともあります。

重大な疾患が疑われる場合などには、**ホルター心電図検査**を行い、心臓の動きを調べます。

ホルター心電図検査について

ホルター心電図検査とは、小型の記録装置を身につけて、24時間の心臓の電気の流れを記録する検査です。

通常的心電図検査は数十秒程度の記録ですが、動悸や胸の痛み、胸の違和感、息切れ、めまいなどの症状は、検査中に必ず現れるとは限りません。そのため、普段どおりの生活を送りながら長時間記録することで、症状が現れたときの心臓の状態を詳しく調べることができます。

検査では、胸に数枚の電極シールを貼り、小さな記録装置を携帯していただきます。装置は軽量で、日常生活を送りながら検査を受けることができます。

検査中は、症状が現れた時間や、そのとき何をしていたかを記録していただく場合があります。

記録した心電図から、不整脈や種類、脈の乱れ、心拍数の変化、症状との関連などを確認し、今後の診断や治療方針を決めるための大切な情報となります。



当院では症状に応じ、医師の判断により心電図検査およびホルター心電図検査を行っています。動悸や息切れ、胸の痛みなどの気になる症状があるときは医師へご相談ください。



◀ ホルター心電計（実物）

令和7年度から新しくなりました。
従来のものから更に小さく・軽くなり、
使用の負担が軽減しています。
大きさは約5.5センチメートル。
当院診察券の縦幅よりも少し大きいぐらいのサイズです。